## 付録規定 B 郵便番号を用いた地域指定のための符号化

### B.1 全体の構造

地域指定の符号化は、以下のデータ構造の並びである。

length 8bit: リスト全体のバイトを示す。

exclude\_list\_length 8bit:除外リストのバイト数を示す。

exclude\_list include\_list

ここで、exclude\_list\_length が 0 の場合は、除外リストが指定されないものとする。検索する郵便番号が exclude\_list に入っていたら対象地域から除外することとするため、対象地域の該当判定は、exclude\_list に入っていず、かつ、include\_list に含まれていることが条件となる。

#### B.2 基本フォーマット

32ビットの固定フォーマットの繰り返しとする。

MSB が 0 の場合は、2 桁の範囲指定とし、開始から終了までを記述する。この場合、第二バイトの MSB が 1 の場合さらに 2 バイト同様のフィールドが継続する。

MSB が 1 の場合は、最初の 7 ビットで 2 桁の数値を表現し、残り 3 バイトを 4 ビットずつに区切り、最初の 1 ニブルで後続フィールドのフォーマットを切り替える。

なお、「5 digit range From」と「5 digit range To」、「7 digit range From」と「7 digit range To」は隣接して記述する。また、7 桁未満の桁数での指定は、指定された上位桁が一致する全ての郵便番号が指定されたものとして解釈する。例えば、「30~35」と指定した場合には、300-0000 から 359-9999 までの郵便番号の範囲が指定されたものとみなす。

表 B-1 基本フォーマット

0	From	0	То		*	Void		*	Void	
0	From	1	To	То		From		*	То	
1	2digits	Fla	ag	а	b		С	d		е

表 B-2 Flag と後続フィールドのフォーマット

Flag		a-e
3digit list	8x0	0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,F (void)
3digit range	0x9	a:F (void) b:From,c:To d:From e:To
5digit list	0xA	a:3 <sup>rd</sup> digit b:4 <sup>th</sup> digit c:5 <sup>th</sup> digit d:4 <sup>th</sup> digit e:5 <sup>th</sup> digit
5digit range From	0xB	a:3 <sup>rd</sup> digit b:4 <sup>th</sup> digit c:5 <sup>th</sup> digit d,e:void
5digit range To	0xC	a:3 <sup>rd</sup> digit b:4 <sup>th</sup> digit c:5 <sup>th</sup> digit d,e:void
7digit range From	0xD	a:3 <sup>rd</sup> digit b:4 <sup>th</sup> digit c:5 <sup>th</sup> digit d:6 <sup>th</sup> digit e:7 <sup>th</sup> digit
7digit range To	0xE	a:3 <sup>rd</sup> digit b:4 <sup>th</sup> digit c:5 <sup>th</sup> digit d:6 <sup>th</sup> digit e:7 <sup>th</sup> digit
7digit list	0xF	a:3 <sup>rd</sup> digit b:4 <sup>th</sup> digit c:5 <sup>th</sup> digit d:6 <sup>th</sup> digit e:7 <sup>th</sup> digit

- (1) 3digit list は 4byte あたり最大 5 組の指定が可能。5 組未満の指定の場合には、該当するフィールドに F (void)を設定する。
- (2) 5digit list は 4byte あたり最大 2 組の指定が可能。1 組のみ指定する場合には、d:,e: のフィールドに F (void)を設定する。
- (3) 3digit range は 4byte あたり最大 2 組の指定が可能。
- (4) 3digit list の場合、a-e には 3 桁の末尾 1 桁が入る。

# B.3 例

関東甲信越:10~40,94~95 (〒100-0000 から〒409-9999 と〒940-0000 から〒959-9999

まで)

5		0					
0	10	1	40	0	94	0	95

東北:01~03,96~99

5		0					
0	01	1	03	0	96	0	99

北海道:00,04~09

5		0					
0	00	1	00	0	04	0	09

関東:10~37,384-0097,389-0121

13		0								
0	10	0	37		0	0x7F		0	0x7F	
1	38	0xI	_	4	0		0	9		7
1	38	0xI	-	9	0		1	2		1

東京: 10~20,not 199

9		4								
1	19	0x8	0x8 9		0xF		0xF	0xF		0xF
0	10	0	20		0	0x7F		0	0x7F	

大阪: 53~59,618-0000~618-5000,630-0271,not 563-0801(但し 618-0000 は京都府もある)

21		4					
1	56	0xF	3	0	8	0	1
0	53	0 59		0 0x7F		0 0x7F	
1	61	0xD	8	0	0	0	0
1	61	0xE	8	5	0	0	0
1	63	0xF	0	0	2	7	1

# ARIB STD-B24 第二編

- 以下のようなデータは許されない
  - \* 3digit list

a:1 b:(void): c:3 d:4 e:5

\* 3digit range

a:(void) b:(void): c:(void) d:From e:To a:(void) b:(void): c:To d:From e:(void)

\* 5digit list

a:3rd b:(void): c:(void) d:4th e:5th